

総合教育会議（第3回）会議録

1 開 会 年 月 日	平成29年12月22日（金） 午後1時
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 三谷信恵, 石井啓弐, 藤谷幸弘, 山下敬広
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 井上洋一 教育総務課長 黒田英樹
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 学力テスト結果への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査における笠岡市の状況について、「知識」を問うAの小学生国語と中学生国語は全国平均・県平均と互角のレベルにある。一方、「活用」を問うBは全てにおいて低いレベルにある。「活用」問題を解くには、長い文章を読み解く力が必要だが、長文を分析的に読み、それを使い、何を聞かれているのかを把握するのが苦手なためである。 ・対策として、文章を丁寧に読ませる時間を確保する。自分の考えを表現するために、まず書く活動によって育てることを学校では行っている。 ・平成23・24年度の頃は、質問に対して分からない場合、書かない、無回答が多かった。長文読解を面倒くさがって諦めていた。現在は改善して来て、無回答の率が減っている。 ・学ぼうという意欲が強い子どもたちは刺激に対する反応が高い。そこで、人間関係を良くしていく過程で子どもたちが互いに学び合い、助け合って学ぶ、学ぶ事は面白い・楽しいという雰囲気をつくることに取り組むこととしている。 ・教育委員からは、結果は結果として受け止め、それぞれの学校で対応や先生の方針が違うであろうし、当然子どもたちが違えば対応を違うでしょうから、一律にこうしましょうよりも現場の判断を尊重し、改善してゆけばより良くなるのではないかと意見あり。 <p>(2) 大島東小学校の廃校計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大島東小学校は今年度末をもって閉校し大島小学校に統合。笠岡市公共施設の状況の中で教育委員会所管の公共施設が全体の49.8%を占めている。財政が厳しい中、全部を維持することは難しい。用が済んだものについては、除却をしていくのが基本と考えている。大島東小学校については山側（一番上）の校舎は鉄筋コンクリート造で、耐震化済み。地域の防災計画書では避難所に指定。真ん中の校舎と1番前の講堂がある校舎は木造校舎で耐震性の問題あり。また、一番前の建物は底地の半分くらいは借地。学校としての役割を終えた場合、基本的に取り壊す方向。 ・12月14日に第1回目の地元説明会を開催。移動（バス）の話で盛り上がり、いろいろ議論になった。利活用の話はその場ではあまり話ができておらず、地区毎に意向をまとめるようお願いした。 ・スクールバスについて、地元のお年寄りも乗れる定期路線にしてほしいという話が出たが、地元市議会議員がデマンドバスを導入の経緯を説明して、その場は収まった。 ・授業の開始とか始業式・終業式とかいろんなイベント行事などでスクールバスの時刻が変わったりするし、小学校1、2年生と高学年では帰る時間も違うので、スクールバスがベスト。 ・今後、統廃合や一貫校などを企画していく中でスクールバスの配置を必須と考えているので、その方向で進めてよろしいか。・・・市長・教育委員とも了承。

(3) 教員業務アシスタントの配置計画について

- ・校舎長から予算要望の中で、学校の用務員さん、校務員さんの要望があった。先生の本来の業務＝子どもたちに向き合う時間を確保するため、来年度から、たちまち5名、教員業務アシスタントを配置する。
- ・業務内容は先生方のプリントの印刷、校内環境の美化、加えて来年の5月から幼稚園の給食がスタートするため給食業務の手伝いを考えている。
- ・中央小・笠岡小・笠岡西中・笠岡東中は県費で、教師業務アシスタントが配置されているので、31年度以降も5名ずつしていけば、32年度までに、陸地部の業務アシスタントの配置は完了する。その後、学校規模適正化の進展を見ながら、島しょ部の学校についても配置を検討する。

(4) 市営プール50mコースの跡地利用について

- ・番町にある50mプールが漏水のために一昨年くらいから使用不能。今年度の当初予算では、側だけを取って土をいれてゲートボール場として多目的に使えるグラウンドにしようとする計画。12月補正予算で夜間照明つき、人工芝でフットサルが2面取れるようなものにしようとする実施設計の追加・増額の上程をした。
- ただ、総務文教委員会や市議会本会議で本当にプールがいらないのか？なぜこの時期の補正なのか？といった意見が出た。
- ・露天に50mプールを作ると3億6千万円。屋根をつけて、冬までは外して春すぎから秋ぐちまで泳げるようにすると1億2千万円。4億6千万円をかけて50mプールを維持するのがいいのか、25mプールと幼児用プールは残して、2億3千万円かけてプールを埋めて、人工芝を敷いて照明をつけてフットサルが2面できて少年のサッカーコートが1面できてグラウンドゴルフ場にも使える、多目的の場所を一つ作るのがあるのか。
- 50mプールの今までの利用状況は、夏の1番盛りのときでも1日10人で、小学校3年生以下は保護者がついてないといけないというさまざまなルールがあり、基本的に泳いでいる人がいないという現状。
- ・各々の教育委員から漏水で使用ができない状況である以上、まずは安全を確保するための対策は最低限必要。その後どう利用するかは幅広く意見を聞くなり、状況をよく見る中で検討していくべきとの声。

【報告事項】

(1) 小中一貫校審議会の現状報告について

- ・10月から教育審議会を開いていて、(今月)20日に第2回審議会が行われた。第1回目は全体の会議、第2回目は委員さんの中で、府中市の教育委員会学校教育課の門田課長さんに府中市が平成14年くらいから取り組まれた時にどういった状況の中で取り組み、ご苦労された点などを聞いた。取り組みの1番の話はやはり中1ギャップの話と学力の話。
- ・平成30年12月頃諮問に対する答申が出る予定。答申を受けて、パブリックコメントを反映して、最終的には、議会で報告。
- ・小中一貫校を検討していく中で、現在ある学校規模適正化計画も見ながら作っていく。整合性が取れた計画になる。

(2) 井戸平左衛門賞への対応について

- ・今年の4月に教育委員会で説明したとおり、中学2年生を対象に新たに創設する賞。12月28日までに各学校から校長先生による2名程度の推薦を学校教育課へ提出。
- ・今年度は各校から基本男女各1名を推薦。

(3) 中学生の検定チャレンジについて

- ・英語検定・数学検定・漢字検定を1年に1回検定料を補助しようというもの。
- 10月8日に英語検定を笠岡小で実施。今月2日には中央公民館・市民会館を使い数学検定。1月27日に漢字検定を市民会館で実施。英語検定については結果も出ており、2級(高校卒業程度)は1名合格。
- ・成績優秀者を市長表彰するかどうか。優秀者というのは何級なのか？スポーツ・文化でスポーツ特別賞という全国大会で3位以内に入賞したというものと比較して、2級合格者が、市長が表彰する優秀者といえるのか？
- ・市長から、全体の勉強だけではなく、一つ一つの分野で小さいすごいを作り、みんなが認め合う、みんながすごいと言い合えるような文化価値観を創造するのが事業意図との説明。
- ・教育委員からは、モチベーションを上げるための制度としてはいいと思うが表彰までは必要ないとの意見多数。

・受験者数からすると増えてくるので、意欲的な1つの場として学びの魅力になってくるのは確か。その肝はできていると思う。そのあとは、学校教育課の方でお願いします。

(4) 校園長会PTA連合会からの予算要望の統一化について

・市長からの指摘で、来年度からは一体的で優先順位を付けていただくようお願いする。

(5) 図書館の上期レビューについて

・来館者数は1.3倍、貸し出す数は1.2倍という状況。ずっと変わりはない。

(6) 美の浜グラウンドの活用について

・野球をしているところの活用頻度が低いということで今後、定住促進にするために住宅地としてそこを売却の方向で考えていることは教育委員会定例会でお伝え済み。

・教育委員会として美の浜グラウンドの活用頻度が減ったので笠岡市に返却しますという報告は聞いている。その後の活用方法について教育委員会として良いとか悪いとかは控えさせていただく。その後の活用については所轄が違う。(市長部局の方で検討)


(7) その他

・次回から教育委員会定例会で報告済みの案件については、議題としないこととしたい。


平成29年12月22日(金) 午後3時6分


上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。


平成30年3月20日

笠岡市長 小林嘉文 

教育長 岡田達也 

教育委員 三谷信恵 

教育委員 石井啓弐 

教育委員 藤谷幸弘 

教育委員 山下敬広 